

隣保館だより 大野

2024年

11月号

第566号

編集・発行 〒677-0025
西脇市大野176番地
西脇市立大野隣保館
TEL 0795-23-2291
FAX 0795-23-2290



第15回“都麻の里さわやか交流祭” 開催のお知らせ♡

11月3日(日)に、第15回都麻の里さわやか交流祭を開催いたします。たくさんの方々にご来場いただけますこと、感謝申し上げます。

「差別のない津万地域をめざして」取り組んでおります交流祭も15回を数え、地域のイベントとして定着してまいりました。「認め合う 広い心と 思いやり」というサブテーマのとおり、思いやりにあふれた交流祭になりますよう、またこれからも続いていきますようお願いしております。

交流祭の様子は、来月号でお知らせいたします。



素敵な名言を皆さんにご紹介します。

「たまごボーロ」で有名な竹田製菓の創業者、竹田和平さんの言葉です。

・困難にぶつかったら「あたりまえ」のことからはじめる

物事がうまくいかないときや、思うようにならないとき、私たちはいつもと変わったこと、違ったことをしたがるものです。

難しい問題を難しく解こうとすると、事態はもっとこんがらがってしまいます。何か困ったことや悩み事があって、それが困難な問題であればあるほど、「あたりまえのこと」から始める。

・仕事でも人間関係でも、あたりまえが一番大事

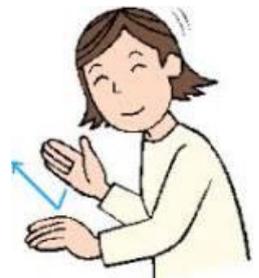
「あたりまえ」をおろそかにしたら、うまくいくものもうまくいかなくなってしまいます。仕事でも人間関係でも、結婚でも恋愛でも、人生のすべてのことに共通する真理

・ないものねだりをするよりも、今あるものに感謝する

「私は可愛くないから」「俺は学歴がないから」と言った具合に自分の足りない部分に目を向けるのではなく、「私には優しさと思いやりがある」「俺には諦めない根性がある」という風に、自分が持っているものに目を向けて感謝する。

そうしていくと、不思議と同じはずの周りの景色が、明るく楽しいものに見えてきます。

「あたりまえのこと」をしっかりやり、「今あるもの」に感謝すること が基本のようです。



「沈黙」

身の回りから人権を考える 80のヒント

武部 康弘 著 より



◎村上春樹の短編「沈黙」を読んで

村上春樹の作品の中に「沈黙」という短編小説がありますが、その作品の中に、考えさせられる部分がありましたので、紹介してみたいと思います。

話は、大沢さんが過去の出来事を語ることから始まります。高校3年の夏休みに同級生の松本君が自殺し、その原因が大沢さんのいじめによるものらしいといううわさが広がり、同級生をはじめ教師までもが大沢さんを無視し始めます。

それから、大沢さんはまるで「犯人」を見るかのような視線にさらされながら、孤立していく恐怖を、とことん味わいます。そして卒業して何十年も経った現在でもそのことで悪夢を見ます。

この周りから無視される恐怖を作りだしたのは、青木という同級生が、うわさを流したことによるものでした。そして、大沢さんは、話の終わりに次のように述べています。

『僕が怖いのは青木のような人間ではありません。……でも僕が本当に怖いと思うのは、青木のような人間の言い分を無批判に受け入れて、そのまま信じてしまう連中です。

……彼らはそういう自分たちの行動がどんな結果をもたらそうと、何の責任も取りやしないんです。ほんとうに怖いのはそういう連中です。』と。



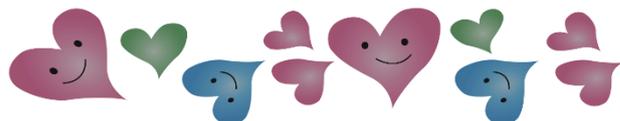
◎冤罪を作りださないために

問題が起きると、「疑わしき人」を探し出し、その人に責任を押し付け、「犯人」に仕立て上げていく。そして、「犯人」とされた人は、人と人との関係を断ち切れ、人生をいとも簡単に壊されてしまう怖さを経験することになります。「犯人」とされる人が出てくれば、もうそれで問題は解決したとして、問題の本質を探ろうとしなくなり、やがて忘れ去られていくことになります。

根本的な問題が解決していなければ、何度でも同じような問題が生じることになります。それでは、このような事を繰り返さないためには、どうすればよいでしょうか。

他人の話を鵜呑みにせず、自分の責任において判断することが、まず大事だと思います。そして、自分が何か間違ったことをしているんじゃないかと自己を見つめ、そして、自分が誰かを無意味に、傷つけているかもしれないという思いを持っている事が大切ではないでしょうか。

自分もいついかなるときに、被害者にあるいは加害者や傍観者になるかわからない存在であるということを自覚しておきたいものです。



冤罪で争われていた袴田事件の、再審無罪が確定しましたね。こんなに大きな事件でなくても、私たちの身近で「冤罪」は起こり得ます。

何も気にせず発言したことがいじめの引き金になり、加害者又は被害者になりえることもあります。また傍観することで心に傷を負うこともあるのではないのでしょうか。

ひとりで抱え込まずに、困ったときは、公的・民間・専門家などに相談するのが良いでしょう。

竹田和幸さんの『特別なことをするのではなく感謝を忘れず「あたりまえなこと」をしっかりとやる』という言葉のとおり、自分の心に沿って判断したいものです。

11月は児童虐待防止推進月間です！



たたかれてもいい
子どもなんて、
いないんだよ。



子どもがもっている権利

たたかれたり
ひどいことを
言われたい



げんきに・健康に
毎日を送り
成長する



保護者の人から
育てられる
守ってもらえる



自分の意見を言う
話を聞いて
もらえる



これらは、世界の国々で約束されている、子どもの権利です。
誰からも、この権利を奪われることがあってはいけません。

体罰は法律で禁止されています。「しつけ」と言って、お家の人や大人の人から「たたく・ける」「長時間の正座」「どこかに閉じ込められる」「無視される」「きょうだいと比べてけなす」「産まれてきたことを否定される」などはすべて体罰です。

どんなに好きな相手でも、こんなことをされたら、痛くて、悲しくて、つらいですね。でも、大人も悩んだり、怒ったり、いやなことがあって落ち込んだりすることもあります。

だからといって子どもに体罰など与えることは許されることではありません。あなた自身やお友達が「体罰や暴言を受けているかも？」と思ったら、信頼できる大人の人に相談してみよう。力になりたいと思っている人はたくさんいるよ。

子どもだけではなく、女性もね。



全国一斉女性の人権ホットライン強化週間

夫・パートナーからの暴力やセクシャル・ハラスメントなど、女性をめぐる様々な人権問題について電話相談に応じます。

受付 11月13日(水)～19日(火)

(月～金) 午前8時30分～午後7時まで

(土・日) 午前10時～午後5時まで

電話 0570-070-810【全国共通ナビダイヤル】

相談方法 電話による相談です。相談は無料で、秘密は厳守されます。

(人権擁護委員、法務局職員が対応します。)

問い合わせ 神戸地方法務局人権擁護課 ☎ 078-392-1821



11月の館行事・講座予定表

日	曜	午前	午後	夜
1	金		★フラダンス	
2	土	★手編教室		
3	日	都麻の里さわやか交流祭【文化の日】		
4	月		😊😊😊	
5	火	料理教室		
6	水	ヨガ教室	生活相談	
7	木		おり姫体操	【立冬】
8	金	あじさい会食事会		
9	土			
10	日			
11	月		★布あそび 健康卓球④	
12	火	3B体操	大野いきいき サロン	
13	水	お茶サークル		パソコン教室
14	木		おり姫体操	生花教室 健康太極拳④
15	金			【七五三】
16	土	西脇市人権教育研究大会 (重春小)		【国際寛容デー】
17	日	県知事選挙		
18	月	★すすく広場		
19	火		絵手紙教室	
20	水	ヨガ教室	生活相談	パソコン教室
21	木	手編教室	おり姫体操	
22	金		フラダンス	【小雪】
23	土		【勤労感謝の日】(嶋)	
24	日			
25	月		布あそび④ 健康卓球④	
26	火	3B体操		
27	水	お茶サークル	生活相談	パソコン教室
28	木	みんなで 歌う会	おり姫体操	健康太極拳④
29	金			
30	土			

霜月の【暦】を記入。
★講座は、予定日を変更しています。
(町名)は町別学習会の予定です。
※ギターサークル生募集中

★ポイント手話★

うれしい
とてもうれしい
(目を凝らして)

目の動き: 目を細めることで「とても」と伝えることができます。
体の動きも、「大」「小」を現わします。
④「大好き心」と表現してみまよう★

《相談》 津万地区のみなさんを対象に生活・人権・教育などの相談を随時行っています。相談時間は、午前9時～午後5時45分です。お気軽にご相談ください。

《図書室》 人権・同和教育関係・一般図書一般小説・趣味の本・絵本などをそろえて、閲覧・貸出を行っています。お気軽にご利用ください。

《大野隣保館よりお知らせ》

大野隣保館では、講座について、皆様のご意見、ご要望お待ちしております。Tel.23-2291

編集後記：▼闇バイトのニュースが毎日報道されていますね。SNS を使って募集されたサイトについつられて応募してしまう。気付いて抜け出そうとしても、抜けられない。人と人が顔を合わせて、話すという機会が減っているのでしょうか？一人で抱え込まないでほしいのですが、助けてくれそうな人の顔が浮かばないのかもしれないかもしれません。そんなときには隣保館を思い出してください。▼ないものねだりでなく、今あることに感謝する。できることから始めましょう。▼さわやか交流祭も15回も続けてこられたことに感謝し、これからも続けていけますよう努力してまいります。地域の皆様方のご協力、これからもよろしくお願いいたします。